



二十歳代表のあいさつ

岡部 愛斗（宝城中卒業）

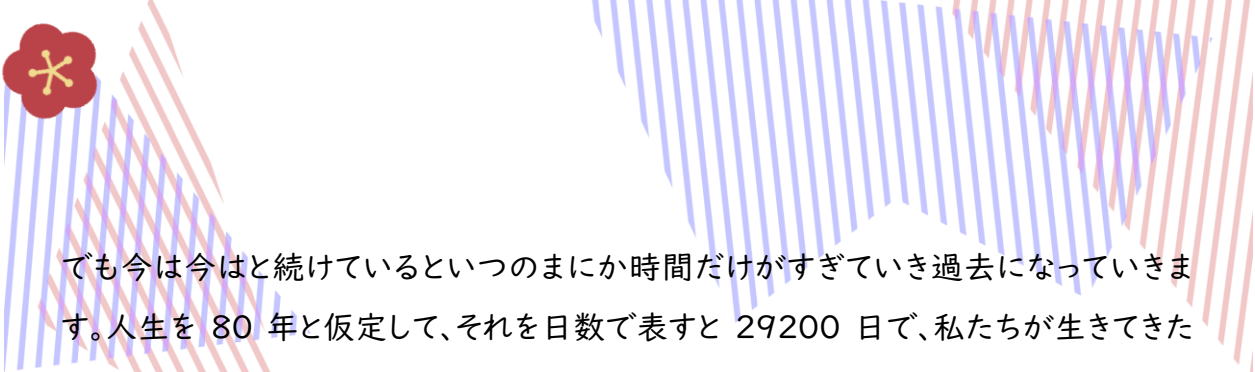



本日は、二十歳となり新たな門出を迎える私たちにこのような盛大な式典を催してくださり誠にありがとうございます。また、今日まで育て上げてくれた両親や家族、そしてご指導いただいた諸先輩方に、心より感謝申し上げます。


昨年の10月に20歳となり、同時期ぐらいにここでの挨拶が決まって何を話すか、話すべきか悩みました。ここから先はある人の言葉を借りながら自分の思いを伝えたいと思います。

いきなりですが私はゴミ人間です。え、何言ってんだこいつという感じだと思います。なので今からはこの言葉に至る寄り道だと思って聞いて頂ければと思います。私たちは生まれた時からインターネットが日常にあり育ってきました。ネットの利便性の部分とそうではない部分があるのは知っていると思いますが、この二つの部分はコロナになり、より浮き彫りになったきがします。今の日本はまだまだ夢を追う、なにかに挑戦する人を言葉は悪いですが攻撃する人たちがいます。その人たちはなぜ攻撃するかをその人たちに寄り添って考えた人がいたので、この場を借りてみなさんに共有したいと思います。


その人たちは、もともと夢の類をもっていたんですけど、大人になる過程で、自分自身の能力や環境を鑑みて、折り合いをつけて捨ててしまった。そんな中、「自分が折り合いをつけて捨てたモノ(=ゴミ)」を今だに持ち続け、丁寧に磨いて輝かそうとしている者がいて、その捨てたモノが輝いてしまうと、あの時夢を捨ててしまった自分が間違っていたことになってしまうから攻撃するんだと。だから、私は、夢追い人、総じてゴミ人間です。今現在、夢を持ってる人、なにかに挑戦しようもしくはしてる人、そしてそうでない人もこれから先、より一層、現実はどうで、大人とはこうあるべきだと強いられることがあると思います。その度に今はこうしなきゃいけないだとか、今は現実をみるべきだと思うかもしれません。



でも今は今はと続けているといつのまにか時間だけがすぎていき過去になっていきます。人生を 80 年と仮定して、それを日数で表すと 29200 日で、私たちが生きてきた 20 年間は 7300 日となり 4 分の 1 が終わり残り 4 分の 3 です。今は一瞬です。この挨拶もまもなく過去になります。過去に戻って始まりを変えることはできませんが、今いる場所から始めて未来を変えることはできると思っています。もう今からだ遅い、と思っている人も、人にはそれぞれ人生の時間軸があって 22 歳で大学を卒業する人もいれば 40 歳で大学を卒業する人もいると思っています。周りと比べて自分より周りが先に進んでいると焦ったり、不安になったりすることもあるかもしれません。




でもそれが、遅すぎるわけでも早すぎるわけでもなくて、自分にとってベストな時間で生きているだけだと思います。完璧な人生じゃなくて自分にとって面白い人生にしてみませんか。長々と偉そうなことを言いましたが、私自身もまだまだ未熟です。本当の意味で誰の言葉も借りずに自分の思いを語れるようこれからの人生を歩んでいきます。



最後に私の好きな言葉で終わりたいと思います。

「正解の道を選ぶのではなく、選んだ道を正解にする」



簡単ではございますが、以上で二十歳代表挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。